



平成 19 年 3 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社ファーマフーズ
代 表 者 名 代表取締役社長 金 武 祚
コ ー ド 番 号 2 9 2 9 (東 証 マ ザ ー ズ)
問 合 せ 先 常務取締役総務部長 上野竹生
T E L 0 7 5 - 3 9 4 - 8 6 0 0

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18 年 9 月 13 日の決算発表時に公表した平成 19 年 7 月期(平成 18 年 8 月 1 日～平成 19 年 7 月 31 日)の中間業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 7 月期の中間業績予想の修正(平成 18 年 8 月 1 日～平成 19 年 1 月 31 日)

(金額単位:百万円)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	650	11	5
今回修正予想(B)	353	142	107
増 減 額(B-A)	297	153	112
増 減 率(%)	45.7	-	-
(ご参考) 平成 18 年 1 月中間実績	594	194	115

2. 修正の理由

当中間期に売上予定しておりました当社素材の新商品採用による受注が下期にずれ込んだため、3億5千3百万円と期首予想数値に対して45.7%の減少となりました。その結果、経常利益並びに中間純利益につきましても期首予想数値を下回る見込みとなりましたので、中間業績予想を修正いたします。

なお、平成 19 年 7 月期(平成 18 年 8 月 1 日～平成 19 年 7 月 31 日)の通期業績予想につきましては、当社の今期売上が比較的下期に集中すること、ずれ込んだ新商品採用による受注が見込まれること等により、当初計画を達成できる見込であります。

当社におきましては、新製品の開発、平成 19 年 1 月 12 日に公表いたしました株式会社広島バイオメディカル(仮称)設立に伴う検査薬・試薬分野への事業展開、当社素材の海外での営業展開等により、成長性・採算性ある経営に取り組み、今後一層の業績向上を目指してまいります。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上